

2021年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)

2020年7月22日

上場会社名 株式会社エイトレッド 上場取引所 東

コード番号 3969 URL https://www.atled.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 康広

問合せ先責任者(役職名)専務取締役CFO (氏名)佐藤 淳 TEL 03 - 3486 - 6312

四半期報告書提出予定日 2020年7月31日

配当支払開始予定日

(1) 経営成績(累計)

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

1. 2021年0月期和1四十期の未順(2020年7月1日 2020年0月30日

	売上	高	営業利	益	経常利	益	四半期純利益				
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%			
2021年3月期第1四半期	398	12.2	133	27.5	139	34.1	91	35.9			
2020年3月期第1四半期	355	25.8	104	79.6	104	78.9	67	91.1			

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	12.25	12.23
2020年3月期第1四半期	9.04	9.00

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	3,427	2,709	79.1	362.68
2020年3月期	3,498	2,678	76.6	358.43

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 2,709百万円 2020年3月期 2,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金											
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計							
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭							
2020年3月期		8.00		8.00	16.00							
2021年3月期												
2021年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00							

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年 3月期の業績予想(2020年 4月 1日~2021年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	841	7.3	298	11.5	298	10.9	200	4.4	26.77
通期	1,790	10.3	650	10.5	650	10.5	436	5.7	58.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無以外の会計方針の変更 : 無会計上の見積りの変更 : 無修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	7,471,800 株	2020年3月期	7,471,800 株
2021年3月期1Q	68 株	2020年3月期	68 株
2021年3月期1Q	7,471,732 株	2020年3月期1Q	7,448,875 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する気	定性的性	青報・	•	•	• •	•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р.	2
(1)	経営成績に関する説明	児・・		•	•		•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	2
(2)	財政状態に関する説明	児・・		•	•		•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	2
(3)	業績予想などの将来	予測情報	報に関	す	る	説明		•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	• (•	•	Р.	3
2.	四半期財務諸表及び主力	な注記		•			•	•	•		•		•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	4
(1)	四半期貸借対照表·			•			•	•	•		•		•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	4
(2)	四半期損益計算書·			•	•		•	•	•		•		•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	5
	第1四半期累計期間						•	•	•		•		•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	5
(3)	四半期財務諸表に関す	する注言	記事項	•			•	•	•		•	•	•			•		•	•	•	•	•	•		•	•	Р.	6
	(継続企業の前提に関す	する注言	記) •			•			•	•	•		•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р.	6
	(株主資本の金額に著り	しい変動	動があ	つつ	た	場合	か	注	記)		•		•	•				•	•		•	•	•	•	•	•	Р.	6
	(セグメント情報等)・																										Р.	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦及び新型コロナウイルス感染の世界的な 広がり等により、国内外において経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況が一層高まってお ります。

当社が属するIT業界は、政府による働き方改革の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、テレワークや在宅勤務等への働き方の変化により、当社が展開するワークフロークラウドサービスの利用拡大が顕著となっていることや、ワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は3億98百万円(前年同四半期比12.2%増)、営業利益は1億33百万円(同27.5%増)、経常利益は1億39百万円(同34.1%増)、四半期純利益は91百万円(同35.9%増)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-pointは、クラウドニーズが増加したこと等により新規販売が減少し売上高が減少いたしました。 <math>AgileWorksは、新規販売パートナーの開拓やテレワークや在宅勤務等によるワークフロー需要の拡大等により、導入企業数が増加し売上高が伸長いたしました。その結果、当第1四半期累計期間の<math>X-point に売上高は95百万円(同10.7%減)、AgileWorks 売上高は1億68百万円(同14.6%増)となり、パッケージソフト全体の売上高は、2億64百万円(同3.9%増)となりました。(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当第1四半期累計期間のクラウドサービス売上高は、1億34百万円(同33.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は34億27百万円となり、前事業年度末に比べ70百万円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が48百万円、電子記録債権が26百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は7億17百万円となり、前事業年度末に比べ1億2百万円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が90百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は27億9百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益等の計上により繰越利益剰余金が31百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 2021年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 803, 832	2, 755, 068
売掛金	172, 880	175, 456
電子記録債権	37, 923	10, 92
その他	22, 293	23,754
流動資産合計	3, 036, 930	2, 965, 20
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	77, 203	74, 022
その他(純額)	5, 025	4, 55;
有形固定資産合計	82, 229	78, 57
無形固定資産		
ソフトウエア	263, 517	224, 129
ソフトウエア仮勘定	_	62, 61
無形固定資産合計	263, 517	286, 74
投資その他の資産	115, 647	96, 96
固定資産合計	461, 394	462, 28
資産合計	3, 498, 324	3, 427, 49
負債の部		
流動負債		
買掛金	25, 674	26, 81
未払法人税等	124, 366	33, 98
前受収益	354, 613	355, 73
賞与引当金	42,089	25, 66
その他	116, 156	135, 73
流動負債合計	662, 900	577, 93
固定負債		
退職給付引当金	77,880	59, 11
役員退職慰労引当金	12, 359	13, 46
資産除去債務	67, 080	67, 13
固定負債合計	157, 319	139, 70
負債合計	820, 219	717, 63
純資産の部		
株主資本		
資本金	620, 824	620, 82
資本剰余金	620, 824	620, 82
利益剰余金	1, 436, 564	1, 468, 31
自己株式	△107	△10
株主資本合計	2, 678, 104	2, 709, 850
純資産合計	2, 678, 104	2, 709, 850
負債純資産合計	3, 498, 324	3, 427, 49
	-	

(2)四半期損益計算書 (第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	355, 319	398, 607
売上原価	78, 919	101, 052
売上総利益	276, 399	297, 554
販売費及び一般管理費	172, 074	164, 495
営業利益	104, 325	133, 059
営業外収益		
解約金返戻金	_	6, 815
その他	19	<u> </u>
営業外収益合計	19	6, 815
経常利益	104, 344	139, 874
税引前四半期純利益	104, 344	139, 874
法人税、住民税及び事業税	20, 783	29, 667
法人税等調整額	16, 230	18, 682
法人税等合計	37, 013	48, 349
四半期純利益	67, 331	91, 525

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。